



企業がSDGsに取り組むメリット

環境省北海道環境パートナーシップオフィス

福田 あゆみ

本日の内容

2

- 背景と現状（日本企業のSDGs取り組み状況）
- SDGsによって得られるメリット
- SDGs入門
- 日本でのSDGsの取り組み
- SDGsに取り組む際の重要な視点



なぜ今、SDGsに取り組む企業が増えているのか？

SDGsに取り組むことで
得られるものは…

ビジネスチャンス

経営のリスク回避、
生存戦略

企業の
持続可能性

企業価値の
向上

共通言語と
目的の共有

日本企業でのSDGs取り組み実態調査

4

(一社) グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ) 、
(公財) 地球環境戦略研究機関 (IGES) の共同研究により発行

動き出したSDGsとビジネス ～日本企業の取り組み現場から～

2017年4月発行



未来につなげるSDGsとビジネス ～日本における企業の取り組み現場から～

2018年3月発行



内容については、
下記URLから
ダウンロード
できます↓

アンケート調査結果（抜粋）SDGsの認知について

5

➡ SDGsの推進には、組織内部での認知が重要

Q: 貴社・団体内でのSDGsの認知度について、あてはまる状況を選択してください。（複数回答、*は2017年度に新たに設定した選択肢）

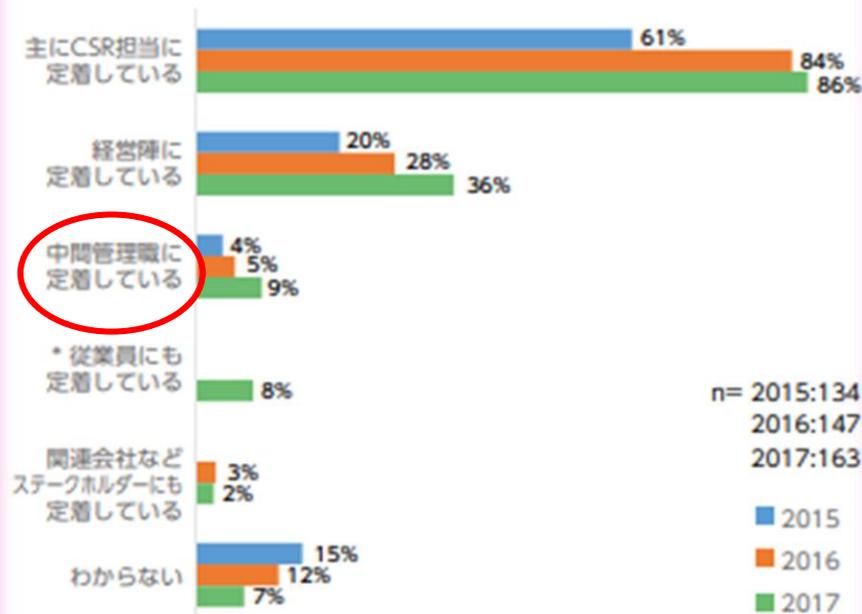


図4：組織における認知度

- ➡ 認知度は毎年向上している
- ➡ 中間管理職の認知が今後の課題である

Q: 貴社・団体内では、SDGsをどのように認識していますか？（複数回答、*は2017年度に新たに設定した選択肢）

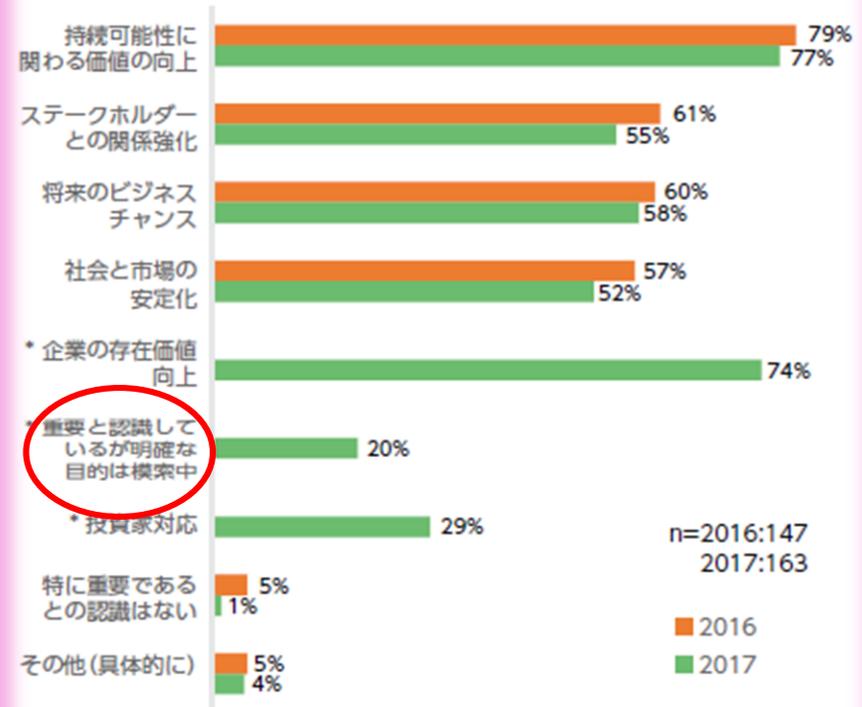


図5：SDGsの認識

- ➡ 重要という認識はあるが、明確な目的は模索中

アンケート調査結果（抜粋）SDGsに取り組む上での課題

6

- ▶ 役職別の理解度について
「中間管理職の理解度が低い」
回答が**47%**
- ▶ 最も回答が多かったのは、
「社内での展開方法が未確定」
52%
- ▶ 「SDGsの評価方法が
分からない」半数近く回答



調査から分かること

**SDGsの取り組み方法を模索している
企業が多い**

**SDGsに取り組もうと意識しているが、
実施に苦労している**

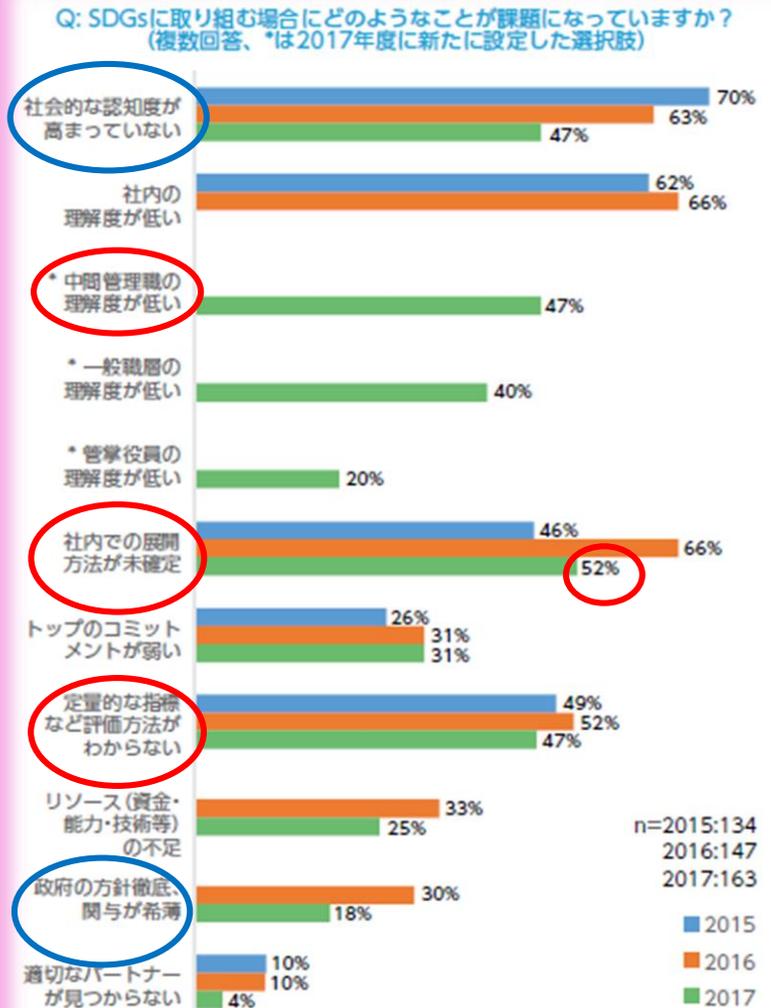


図8：SDGs推進における課題

なぜ企業はSDGsに取り組むのか？ 取り組むメリットは何か？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

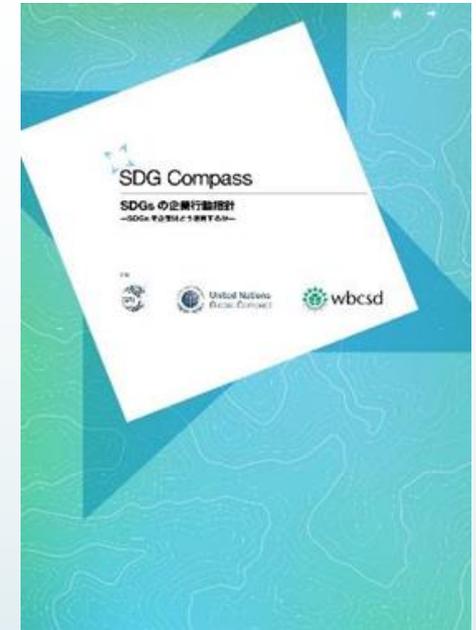
世界共通の持続可能な17の目標



SDG Compassが説く、 企業によるSDGsの重要性

- **将来のビジネスチャンス**の見極め
- **企業の持続可能性**に関わる**価値の向上**
- **ステークホルダー**との**関係の強化**、
新たな政策展開との同調
- **社会と市場の安定化**
- **共通言語**の使用と**目的の共有**

出典：SDG Compass
<http://www.ungcjn.org/activities/help/index.html>



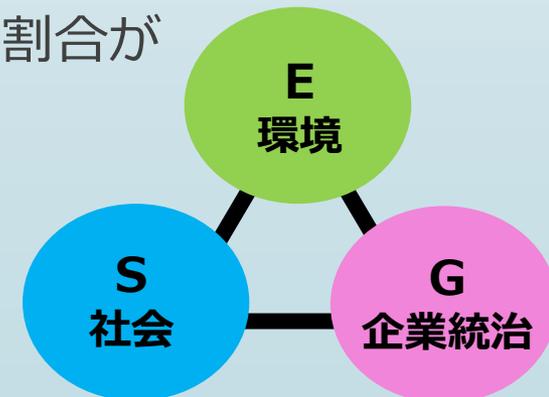
企業はSDGsを達成する上で、**重要なパートナー**である。企業は、それぞれの中核的な事業を通じて、これに貢献することができる。私たちは、すべての企業に対し、その業務が与える影響を評価し、意欲的な目標を設定し、その結果を透明な形で周知するよう要請する。

ESG投資

9

- **環境** (Environment)、**社会** (Social)、**企業統治** (Governance) に配慮している企業を重視・選別して行う投資。
- **環境**と**企業統治**を重視しつつ、より広い観点から企業の**社会的**な価値を評価しようという考え。
- 世界全体の運用額は**2,500兆円**を超え、**総投資の4分の1**を占める。
- 国連が**責任投資原則 (PRI)** を提唱 (2006年)
機関投資家等が投資をする際、投資先のESGやその他人権や貧困等への取組を配慮するべきであるという原則
- **年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF)** が**PRI**に署名 (2015年)
⇒ **2002年時点で0.2%**とわずかだったESG投資の割合が
2017年には35%にまで急増
- 投資額は **1兆円**、今後さらに拡大する可能性あり

ESG投資は**ビジネスチャンス**であり、**生存戦略**



これからSDGsを始める人へ

10



すべての企業が持続的に発展するために —持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド—

- ▶ 対象：SDGsに取り組みたい方、
または中小規模の企業・事業者
- ▶ 環境分野からの視点で説明している

内容については、
URLから
ダウンロード
できます→

出典：すべての企業が持続的に発展するために
—持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド—
<http://www.env.go.jp/policy/SDGshonpen.pdf>



SDG Compass SDGsの企業行動指針

—SDGsを企業はどう活用するか—

GRI（グローバル・レポーティング・イニシアチブ）、国連グローバル・コンパクト、持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）が共同で作成

1. SDGsを理解する

まずは企業がSDGsを十分に理解する

2. 優先課題を決定する

企業の事業活動がSDGsにどのような影響を及ぼしているか把握する

3. 目標を設定する

SDGsの達成度を高めるために、自ら決定した優先課題から目標の範囲を決める

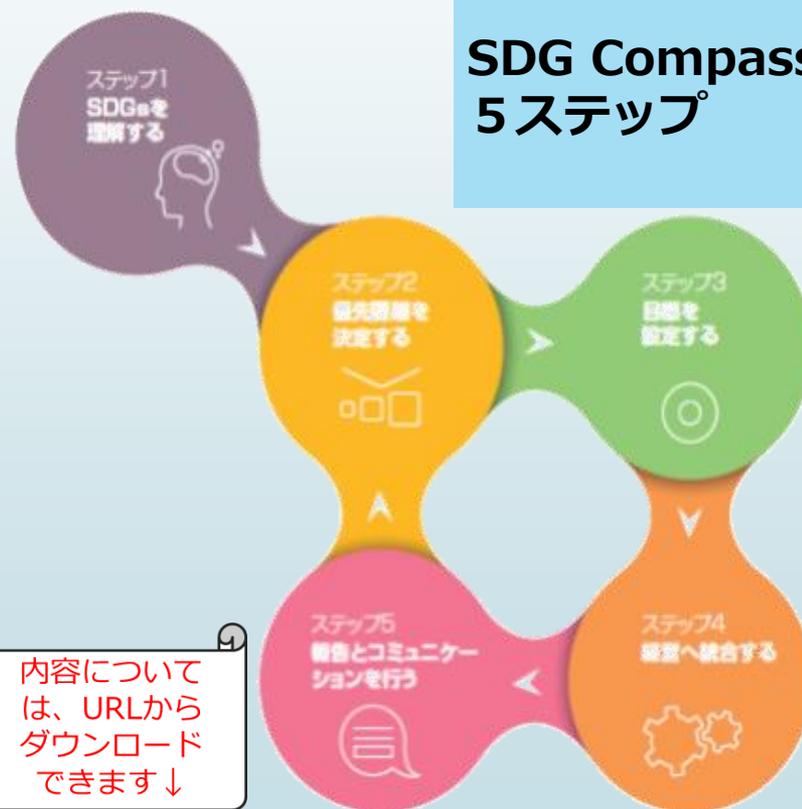
4. 経営へ統合する

目標の取り組みに向けて、SDGsを事業に統合し、企業に定着させていく

5. 報告とコミュニケーションを行う

ステークホルダーへSDGsの取り組み状況を定期的に報告し、積極的に情報開示をしていく

SDG Compass 5ステップ



内容については、URLからダウンロードできます↓



SDGsに取り組んでいる企業は
どんなことをしているのか？

SDGsに配慮した企業行動憲章へ (一社) 日本経済団体連合会

13

- 7年ぶりに**企業行動憲章**を改定 (2017年11月8日)



株式会社 伊藤園

「茶畑から茶殻まで」の一貫したバリューチェーンにおける、SDGsのマッピング→**SDGsを利用し、国内外に向けて事業の取り組みを発信**



(株)レアックス

- ▶ ボアホールカメラの製造や、地質の調査をしている札幌市の中小企業。
- ▶ ボアホールカメラ：円錐鏡を利用し、穴内を360度観察できる技術
⇒目詰まりや故障の状態をカメラによって視認し、効率的な修繕が可能
- ▶ 自社の井戸診断技術を発展途上国で活用⇒**SDGsの達成に貢献！**

SDGs達成につながる事業！

2 飢餓を
ゼロに



3 すべての人に
健康と福祉を



6 安全な水とトイレ
を世界中に

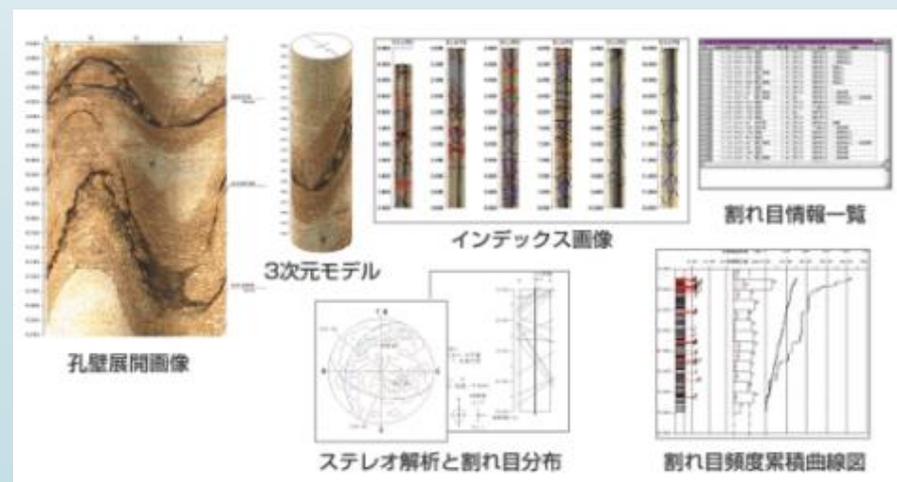


達成しうるターゲット

6.1 2030年までに、すべての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する。

6.4 2030年までに、全セクターにおいて水利用の効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取及び供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。

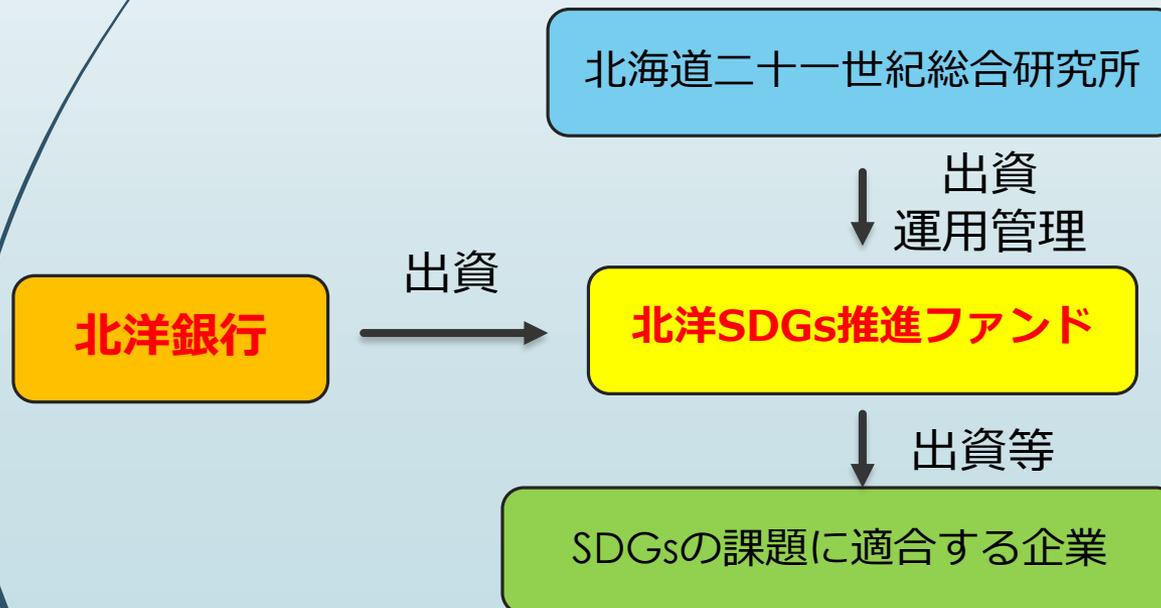
6.5 2030年までに、国境を越えた適切な協力を含む、あらゆるレベルでの統合水資源管理を実施する。



北洋SDGs推進ファンド

(設立：2018年5月)

- ▶ ファンド設立の目的は、「北海道の持続可能な発展」への貢献
- ▶ 投資対象先は、**SDGsの課題に適合する道内中小企業**
- ▶ 主要テーマは「**起業・創業**」
- ▶ SDGsの課題に取り組む企業の成長性や雇用効果を勘案する



企業がSDGsに取り組む際の重要な視点（私見）

- ▶ SDGs達成のための明確な目的をもつ
- ▶ 十分な情報開示をおこなう
- ▶ 中小企業へのさらなるSDGsの浸透
- ▶ 企業間での情報共有
- ▶ SDGsウォッシュをなくす

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ご清聴ありがとうございました。

環境省 北海道環境パートナーシップオフィス
福田 あゆみ
TEL : 011-596-0921
FAX : 011-596-0931
Mail : fukuda@epohok.jp

メールマガジンの登録はこちら！
<https://epohok.jp/mailform/register>

メールマガジンにて、
月に1回SDGsコラムを
連載しています！